

令和7年度地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業

医療現場の業務DXに資する AI人材育成に向けた学科転換事業

プログラム開発委員会

令和7年10月28日 16:00~17:30

進行資料

本日のアジェンダ

1 – AI授業に関する動画へのコメント

2 – 0 から導入に関わった教員からのコメント

3 – 意見交換

- 生成AIを活用した授業の可能性や懸念点について

限定公開動画「和田先生AI授業の取り組みと未来」



https://youtu.be/DeJHSfTJW_o

動画内容の要約①

○教材の作成

- 動画は30～40分。作成時間は1本3～4時間。
- 教科書のPDF化⇒AIで自動化して教材作成⇒読み上げ原稿の作成⇒
⇒自動音声読み上げ⇒IPadでの手書き補足説明

○AIを活用した授業

- 教員が一切教えないスタンス。マナビーで課題を出し、生徒がAIに質問する
- Pythonの授業：天気予報の情報の引用、アドベンチャーゲームの作成
- 理解度チェックのテストを7問出題する仕組みを用意。
- 生徒は、自分のペースで進められるメリット

動画内容の要約②

○学生の反応

- 課題のクリア状況で、個々の学生の状態、悩みのポイントが分かる
- 生徒の「試行錯誤」への理解。答えのない問いへの姿勢
- 「自習しにきているだけ？」
- 対面授業の価値を上げる⇒最先端の現場経験を聞ける等

○AIに向き合う姿勢

- 学生に寄り添った授業をするには、何かを削らないといけないのでは？
- 生徒個々人の課題に答えることが寄り添うことになるのでは？
- AIは時間をつくるもの。
- 業界の社会変化についていく必要性。
- AI＝「楽」ではない。使いこなす、使えるところを探す苦労もある

本日のアジェンダ 1

AI授業に関する動画へのコメント

- ・ 単純な感想／質問
- ・ 動画だけではわからない／ハードルを感じる部分は何か

本日のアジェンダ 2

0 から導入に関わった教員からのコメント

- ・ AI授業導入のビフォア、アフター
(教員目線・学生目線)
- ・ 導入をゼロから準備した教員のリアルな体験
- ・ 楽になったこと、新たに（いまだに）大変なこと

本日のアジェンダ 3

意見交換

- 生成AIを活用した授業の可能性や懸念点について

本日のアジェンダ 3

意見交換

- 生成AIを活用した授業の可能性や懸念点について

顕在化してきた懸念点

- 自学自習との差別化
- 学生の孤立と教員の役割
- 教員側の不安（これで本当によいのか）